

## 気象研究ノート第130号発刊のお知らせと予約募集

気象研究ノート第130号「気象の測定」は、近日中に発刊予定です。内容は下記の通りです。定期購読者以外の方で申し込まれる方は別紙ハガキを御利用下さい。

### 目次

気象測定論……………齊藤 実  
 風，温度，湿度及び乱流輸送量の測定  
 ……………文字信貴・水間満郎  
 大気汚染質の測定……………大喜多敏一・川村 清  
 大気微量成分の測定……………小川利紘

大気電気の測定……………三崎方郎  
 雨滴粒径の測定……………後町幸雄  
 降雨強度の測定……………当倉万寿夫  
 地上からの放射測定に基づく  
 気温の鉛直分布の測定……………嘉納宗靖

ページ数 約160頁

価 格 通常会員 団体会員 会員外  
 1,300円 2,000円 2,200円

## 日本気象学会関西支部昭和51年度 第3回例会プログラム

主題：しぐれ

山本二郎

日時：昭和52年3月17日 13：00～17：00

(5) しぐれ季節の日本海上の雲分布に  
 ついて (大阪) 古橋重利

場所：舞鶴海洋気象台会議室

(舞鶴市下福井大野辺 舞鶴港湾合同庁舎内)

(6) しぐれのレーダエコー解析 (舞鶴) 杉浦 茂

講演題目と講演者 (所要時間20分)：

(7) 日本海中部の大気安定度と  
 しぐれについて (舞鶴) 今井 晴

(1) しぐれの統計調査 (舞鶴) 杉浦 茂

(8) 日本海表面における熱収支 (舞鶴) 矢吹文太郎

(2) 冬期の京都府北部における  
 シャワー性降水について (舞鶴) 堀口善一

(9) 日本海の海流による熱輸送に  
 ついて (舞鶴) 周東健三

(3) 米子におけるしぐれについて (米子) 川上 護  
 原田 晃

(10) 特別講演 (40分) (気研) 竹内衛夫

(4) しぐれ突風について (本庁) 久我雄二郎

### 正誤表 (下記の通り誤植がありましたので、お詫びして訂正します)

巻号	ページ	行	誤	正
24.1	37	左22 (文献)	—, 1977a: 豪雨の時間スケールからみた降水強度の極値の地理的分布, 天気, 24, 00-00	—, 1977a: 豪雨の時間スケールからみた降水強度極値の地理的分布, 天気, 24, 63-70
24.1	つづり込みハガキ (原稿送り状) 裏面	10.	有料別刷の部数：～～ ～～有料 [(6円×頁数) + (表紙つき24円)] ×部数]	10. 有料別刷の部数：～～ ～～有料 [(10円×頁数) + (表紙つき40円)] ×部数]
23.10	544	方程式 (1)の 1行目	$\frac{\partial \nabla^2 \phi_n}{\partial y}$	$\frac{\partial \nabla^2 \phi_n}{\partial t}$
	547	方程式 (7)	$\lambda_n = -\frac{i}{n Z(n) ^2} [Z(\mathbf{n})Z_i(n) - Z(-\mathbf{n})Z_i(-n)]$	$\lambda_n = -\frac{i}{2n Z(n) ^2} [Z(-\mathbf{n})Z_i(n) - Z(\mathbf{n})Z_i(-n)]$